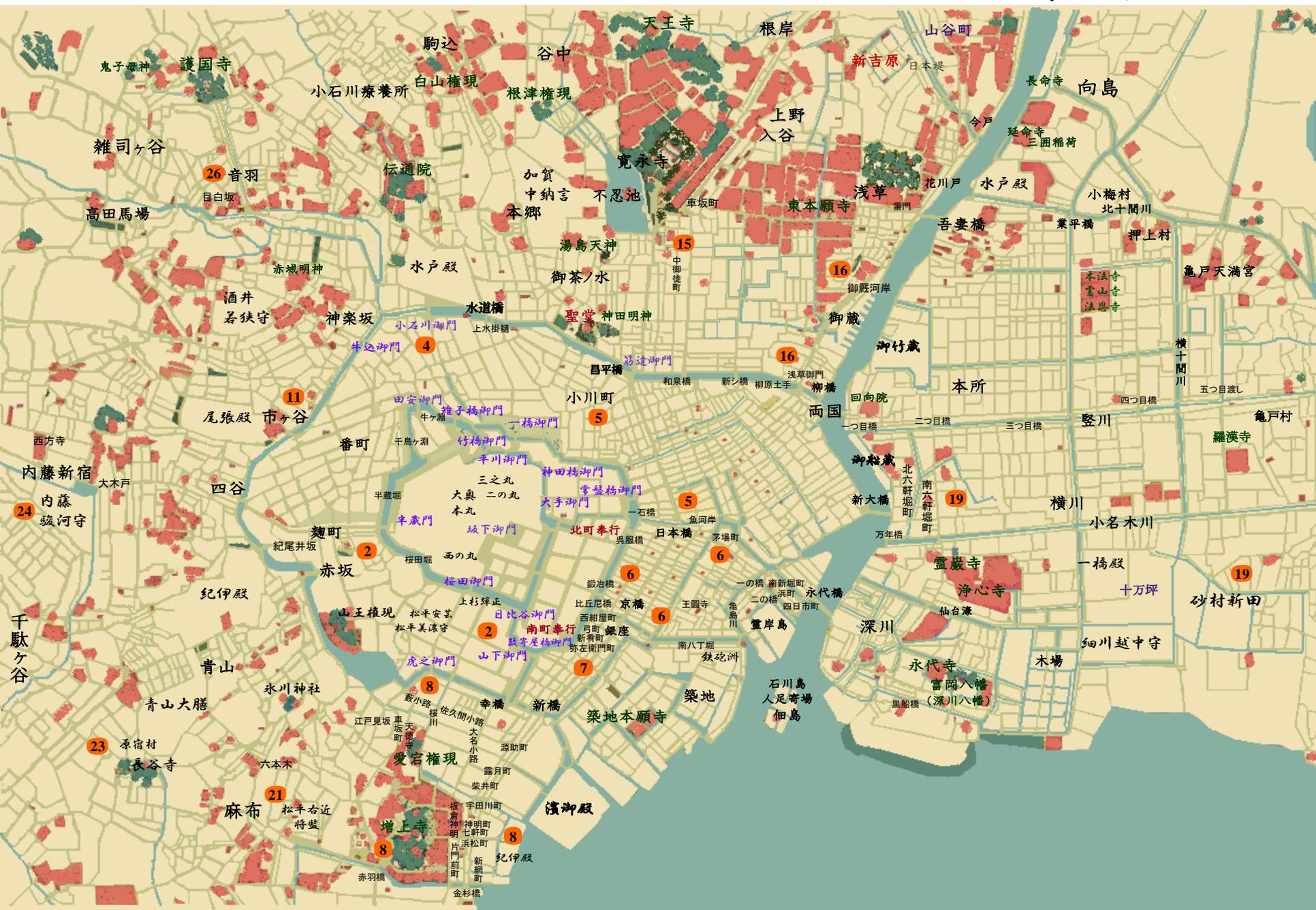


英泰伯佐 斬り二十三人月弦 2 命密



かなすぎそうざぶろう 金杉惣三郎 (婿養子 右筆→徒士組 →江戸留守居役) — あやめ (亡き妻)

せいのおすけ 清之助 (息子)、みわ (娘)

たへえ 太兵衛長屋 : とめ (女房) — ごんろく (亡き亭主 荒神屋)

たけじ 竹次 (ぼてふり) — おたつ (女房)、いそきち (息子)

じんしち 甚七 (左官職) — かね (女房)

こうじんやきはち 荒神屋喜八 (火事始末御用)、とみきち (人足)、新太 (人足)

まつぞう 松蔵 (小頭) — お由 (元ととやの女中)

かんあみぜんべえ 冠阿弥膳兵衛 (芝神明の札差) — うい (女房)、じいちろう (息子)

きょう 杏 (娘) — はんじろう (お杏の亡き夫 芝蔭の長男)

ちゅうぞう 忠蔵 (大番頭)

たつきち 辰吉 (源助町蔭の総頭取 半次郎の父) — つや、とうごろう (纏持ち)

けいあん 溪晏 (八丁堀の医者)

もりしげ 森繁大学 (清々塾の塾長)

いわみてつたろうなりむね 石見鏡太郎成宗 (一刀流道場主)

こざん 尾形虎山 (新宿の医師)

かつぞう 春木屋 勝三 (新宿の目明し)

りんご 藤村林伍 (鳥取藩士 お杏の元情夫)

げんべえ 弦兵衛長屋 : 幸次 (版木職人)、長五郎 (大工)

つぼうちさだかね 坪内定鑑 (北町奉行)

とうじゅうろう 西村桐十郎 (北町同心)

ふきのすけ 花火の房之助 (岡っ引) — しずか (女房 踊り手習い師匠)

さんじ 三児 (下っ引)、まさしち (下っ引)

まつのおすけよし 松野助義 (南町奉行)

つなよし 徳川綱吉 (五代将軍) → いえのぶ 家宣 (六代将軍) →

いまつぐ 家継 (七代将軍)

→ よしむね 吉宗 (八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院)

うじのり 有馬氏倫 (取次役)、ひさみち 加納久通 (取次役)

まなべあきふさ 間部詮房 (元側用人)

のとかみただすけ 大岡能登守忠助 (普請奉行)

やぶたすけはちのり 藪田助八之 (奥庭役)

さいきあわのかみたかひさ さがら まき
齋木阿波守高玖（相良藩主） — 麻紀（正室 紀州新宮藩息女）

みつひろ かな
光紘（息子）、加奈（娘）

とね めのと いづめ あやの
刀祢（麻紀の方の乳母 伊津女）、綾乃（女中）

たてがっさん しげまつ みきぞう
館月山（納戸方）、繁松（次男）、巳喜三（三男）

たんぼ
齋木丹波（先代藩主高茂の異母兄 津以領）

まごさく
古田孫作（江戸家老）

よねやかまきち
米谷鎌吉（御徒士組）

てらむらしげざゑもん
寺村重左エ門（元江戸留守居役）

しの（小料理屋 夕がおの女将 寺村の娘）、結衣（娘）

あやかわたつぶ くさかさこん
綾川辰信（相良藩直心影流道場主）、日下左近（旗奉行家→齋木丹波の家臣）

とさのかみつぐなか
水野土佐守次仲（紀州新宮藩 麻紀の方の父）

ぶんごろう
佐々木文五郎（江戸留守居役）

ぶんごろう
佐々木文五郎（新宮藩 江戸留守居役）

むたいひごろう もとお
武袋彦蔵（新宮藩 記録所役）、素男（嫡男）

りゅうげん
細倉隆元（御典医）、とよ（産婆）

むねなお
宗直（紀州藩主 吉宗の息子）

みつだ つなのり よりもと
光貞（元藩主）、綱教（長男）、頼職（次男）

あんびれい よりかた
安美麗（側妾）、源六（息子→頼方→吉宗）

くらうど
宇井蔵人（小姓頭）

かたぎりたてわき みつよう
片桐帯刀（右筆 密用方）

やすこうちちかふみ
安河内親文（江戸留守居役）

のぼる のうけい
山村昇（目付）、納恵（真如院の副住職 山村の弟）

かすえ
伴野主計（宗門奉行）

りゅうげん
細倉隆元（御典医）

さんぼ
とよ（産婆）、お由利（湯屋番）

つぐとも むねはる
徳川継友（尾張藩主）、宗春（弟）

しょうおう
佐竹松翁（江戸家老）

たけなお
大久保岳尚（次席家老）

つげらんこ いわどのぜん き むろきゆうそう
柘蘭子（隠れ目付 乗源寺一統頭領）、岩殿禅鬼（黒鳥）、室鳩巢（儒学者）

つなえだ
水戸綱条（水戸藩主）

しちろ べえ またべえ
志賀七呂平（御小姓頭）、又平（息子）